

Contemplative Theatre Workshop

- 内観とシアターワークを取り入れた身体知教育の実践 -

シアターワーク（応用演劇）を専門とする小木戸 利光氏と、多文化間カウンセリングと内観療法の実践に携わっている手塚 千鶴子氏を講師として迎え、Contemplative Theatre（コンテプラティブ・シアター）のワークショップを実施します。

日時：2020年1月26日（日） 10:30 - 16:30

場所：慶應大学日吉キャンパス 来往舎シンポジウム・スペース

申し込み方法：imoto.z2@keio.jp（井本由紀）宛てに氏名・連絡先・動機をご連絡ください。

定員：15名（塾生・教職員・一般参加歓迎）

自己形成に深くかかわってきた人物（主に母親）との関係を丁寧に調べていき、そこから醸成される想いや感情をコラージュで表現をする手塚氏の「ミニ内観」。自分の微細な感覚や感情に気づき、それを参加者の関係性の中で演劇的に表現するプロセスを導く小木戸氏の「シアターワーク」。ワークショップでは、これらの手法が融合された Contemplative Theatre を、じっくりと、心と身体の声に耳を澄ませながら、体験していきます。



<講師プロフィール>

小木戸 利光：俳優、Theatre for Peace and Conflict Resolution 代表。英国ノーザンブリア大学演劇パフォーマンス科修了。主な出演作に、NHK「あんととき、」主演、TBS「報道特集」密着ドキュメンタリー等、著書にエッセイ集『表現と息をしている』（2017）がある。シアターワークの実践家として、国内外の教育機関や企業で応用演劇法による実践コースを担当するほか、芸術療法としてのドラマ・ムーブメントセラピーを施す。

手塚 千鶴子：米国ミネソタ大学・教育心理学 PhD。慶應大学国際センター・元教授。内観療法を自ら体験し、日本的な心理療法のあり方について、「甘え」の概念を中心に研究。慶應大学では留学生向けの「ミニ内観」とコラージュを取り入れた授業を展開。